

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

# SUBSCRIPTION CONCERTS

第 748 回  
東京定期演奏会

サントリーホール

2023年3月3日(金)19:00

3月4日(土)14:00

2023  
3  
MAR

KOBAYASHI  
Ken-ichiyo

F. LISZT

KANEKO  
Miyuji

L.v. BEETHOVEN

03.2023



日本フィルハーモニー交響楽団



あれもこれも、で  
いい街にしよう。

たとえば、伝統と革新。都市と自然。  
経済と文化。住む人と働く人。  
あれかこれか、ではなく、あれもこれも。  
私たち三井不動産は、  
異なる概念やさまざまな人を結びつけて、  
イノベーションや挑戦、  
驚きや希望や愛といった、  
新しい価値を次々と街に生み出していきたい。  
そして街に集う人たちと一緒に、  
その先の日常をつくっていきたい。  
街は人とともに。  
三井不動産の「&」の街づくりは続きます。

& 三井不動産  
MITSUI FUDOSAN



## CONTENTS

目 次

● プログラム	4
● 出演者プロフィール	6
● プログラム・ノート- 斎藤 弘美 -	8
● 写真プレイバック- 2023年1月 -	11
● 2023年コバケン・ワールド ご案内	12
● 2023年春季 芸劇シリーズ及び名曲コンサート	13
● あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ	14
● 感動の共有 ~ご支援のお願い~	19
● 日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名	20
● パトロネージュご芳名	24
● Member's TVU CHANNEL 配信一覧	26
● 新入団員紹介	27
● 次回東京定期演奏会	28
● インフォメーション	30
● 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 名簿	31

# JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 748th SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団  
第748回 東京定期演奏会



サントリーホール  
Suntory Hall

2023年3月3日(金)午後7時開演／4日(土)午後2時開演  
7:00p.m. 3rd (Fri.) & 2:00p.m. 4th (Sat.), March 2023

主催／公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団  
協賛／鹿島建設株式会社 三井不動産株式会社

助成： 文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人 日本芸術文化振興会

衣装提供／株式会社カインドウェア  
表紙イラスト／小澤一雄

感染防止策にご協力をお願いいたします。

- スタッフは不織布マスクを正しく着用します。また、小声で対応させていただきます。
- 入場時の手指消毒、手洗い、検温をお願いいたします。
- ホール内ではマスク(不織布など効果の確かなもの)を正しく着用し、周囲のお客様への配慮をお願いいたします。
- 開演前はなるべくお席でお過ごしください。
- 会場ロビーでの食事はお控えください。(ホール内は飲食禁止です)
- プラボーコ等の掛け声はお控えください。ホール内では大声での会話を避けるようご協力ををお願いいたします。
- 出演者へのプレゼント(お手紙・お花などを含む)、面会、楽屋入待ち、出待ち等はご遠慮ください。
- 万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へお客様のお名前と連絡先を提供する可能性がございます。

\*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

リスト：ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調 S.124

Franz LISZT: Concerto for Piano and Orchestra No.1 in E-flat major, S.124

約19分

休憩(20分)Intermission

ベートーヴェン：交響曲第3番《英雄》変ホ長調 op.55 約47分

Ludwig van BEETHOVEN: Symphony No.3 "Eroica" in E-flat major, op.55

約47分

指揮：小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者]

Conductor: KOBAYASHI Ken-ichiro, Honorary Conductor Laureate

ピアノ：金子 三勇士

Piano: KANEKO Miyuji

コンサートマスター：木野 雅之 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：菊地 知也 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

■ 演奏会をお楽しみ  
いただくために

演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

■ 電源OFF



■ 声と拍手にご注意を



■ 周囲にご配慮を



■ 音にご注意を



■ 撮影禁止





# Conductor

指揮

## 小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者]

KOBAYASHI Ken-ichiro, Honorary Conductor Laureate

東京藝術大学作曲科及び指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクールでの鮮烈な優勝を飾ったことを皮切りに世界的に活動の場を拡げ、現在も第一線で活躍を続けている。音楽に対する真向な姿勢と情熱的な指揮ぶりは「炎のコバケン」の愛称で親しまれ、名実共に日本を代表する指揮者である。

これまでに海外ではハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ネーデルラント・フィルハーモニー管弦楽団(25年間、常任客演指揮者を務める)、アーネム・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団、ローマ・サンタ・チェチリア国立管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ハンガリー放送交響楽団等、国内ではNHK交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等、名立たるオーケストラと共に演を重ね、数多くのポジションを歴任。2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオーブニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。この長年にわたる文化を通じた国際交流や社会貢献によって、ハンガリー政府

よりハンガリー国大十字功労勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

作曲家としても数多くの作品を書き、1999年に日本・オランダ交流400年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカラ』を作曲、ネーデルラント・フィルハーモニー管弦楽団によって初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以後もアシュケナージ指揮 NHK交響楽団、小林研一郎指揮日本フィルハーモニー交響楽団などで再演されている。2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』(日本図書協会選定図書)等がある。

現在、日本フィルハーモニー交響楽団桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団・名古屋フィルハーモニー交響楽団・群馬交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団特別客演指揮者、九州交響楽団名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ロームミュージックファンデーション評議員等を務める。

オフィシャル・ホームページ  
<http://www.it-japan.co.jp/kobaken/>



# Piano

ピアノ

## 金子 三勇士

KANEKO Miyuji

©Seiichi Saito

1989年、日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。

6歳より単身ハンガリーに留学。祖父母の家よりバルトーク音楽小学校に通い、ハンガリーのピアノ教育第一人者チエ・ナジュ・タマーシュナーに師事。2001年(11歳)飛び級で国立リスト音楽院大学(特別才能育成コース)に入学、エックハルト・ガーボル、ケヴェハージ・ジュンジ、ワグナー・リタの各氏に師事。

2006年(16歳)全課程取得とともに日本に帰国。東京音楽大学を首席で卒業、同大学院修了。

2008年バルトーク国際ピアノコンクール優勝の他、数々の国際コンクールで優勝。

2011年第12回ホテルオーケラ音楽賞を受賞。2012年第22回出光音楽賞を受賞、2012年第4回C.I.V.C.ジョワドヴィーヴル賞を受賞。2013年、平成24年度上毛賞「第10回上毛芸術文化賞 音楽部門」を受賞。

2019年10月公開の映画『蜜蜂と遠雷』にて主人公の一人「マサル」のピアノ演奏を担当、映画サウンドトラックCD『金子三勇士plays マサル』もリリースされ話題を呼んだ。

これまでにソルタン・コチシュ指揮／ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、ジョナサン・ノット指揮／東京交響楽団、小林研一郎指揮／読売日本交響楽団、日本

フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団(現日本センチュリー交響楽団)、下野竜也指揮／京都市交響楽団などと共に演。国外では、ハンガリー、アメリカ、フランス、ドイツ、オーストリア、スイス、ギリシャ、ルーマニア、チェコ、ポーランド、カザフスタン、ロシア、中国などで演奏活動を行なう。

NHK-FM『リサイタル・パッシオ』に司会者としてレギュラー出演の他、テレビ、ラジオなど多数のメディアに出演。

近年はライフワークの一環として、アウトリーチ活動も積極的に行っている。コロナ禍でもオンラインを活用したさまざまな企画を発信中。

2021年は日本デビュー10周年を迎え、2022年3月にサントリーホールでソロ・リサイタル「原点×挑戦」を開催。同年、ドイツ・グラモフォンより新譜CD『フロイデ』もリリースした。

キッシュマロシュ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。  
オフィシャルHP <http://miyaji.jp/>

## ❖ プログラム・ノート 解説:齋藤 弘美 ❖

### リストとベートーヴェン

フランツ・リスト(1811-86)は10歳の時にハンガリーからウィーンに父子で移り住み、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)の愛弟子だったカール・シェルニー(1791-1857)に師事している(わずか14ヶ月間)。その後彼の演奏会に来席していたベートーヴェンから祝福の接吻が与えられたリストは回想しているが、すでに聴力を失っていたベートーヴェンがリストの演奏をどのように聴いたかは定かではない。ちなみにシェルニーはベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番《皇帝》のウィーン初演者であるから、リストはベートーヴェンの信頼厚い直系の“孫弟子”ということになる。1823年秋にリスト父子はパリに進出。一躍サロンの寵児となり、さらにパリを拠点にヨーロッパ中を席巻していくことになる。20代に入るとベルリオーズやパガニーニ、そしてショパンから多大な影響を受ける。と同時に、ベートーヴェンやメンデルスゾーン、シューマンらの作品研究も行い自らの音楽スタイルを確立していく。言うまでもなくリストの音楽史的な貢献度は大きい。“陽の当たる”功績については枚挙に暇がないが、今では“埋もれてしまった”功績も多々ある。様々な楽曲のピアノ・スコア化もそのひとつで、顕著なところではベートーヴェンの全交響曲、ベルリオーズの《幻想交響曲》、シューベルトの歌曲、ワーグナーやヴェルディのオペラの編作(演奏会用パラフレーズも含む)など、著名な古典作品のみならず同時代の先進的作品

品も積極的に取り上げている。録音技術やインターネットもなく、ライヴ演奏でしか作品を聞くことが出来ない当時としては、こうしたピアノ編曲による普及は、極めて重要な情報源として活用されたに違いない。その中でもベートーヴェンの全交響曲のピアノ編曲は単に普及目的だけではなく、リスト自身の音楽形成の基盤となつた“証”として捉えておく必要があるだろう。

リストとベートーヴェンのもうひとつのが“接点”は本日のプログラムにヒントがある。それは作品が同じ調性の変ホ長調(Es dur, E♭ Major)であること。つまり交響曲第3番《英雄》と同じ変ホ長調で想起されるのが、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番《皇帝》である。作曲家は調性に関しては独自の思い入れを持っている場合が多いが、リストにとって自らの“音楽の象徴”ともいいくべき「ピアノ協奏曲」にあえて《皇帝》と同じ調性で挑んでいることは、強烈な意思表示、あるいはアイデンティティの表明とみることができる。また恩師であるシェルニーが《皇帝》のウィーン初演者であったことも“繋がり”としては重要なファクターとなる。このようにリストはベートーヴェンと関連づけてみると見方や印象がずいぶん変わってくるように思うがどうだろう? 本日のプログラムはその“糸口”を見つけるには格好の機会となるのではなかろうか。

### ◆ リスト:ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調 S.124

ヴィルトゥオーゾ・ピアニストとしての演奏旅行生活に終止符を打ち、ウクライナ貴族の侯爵夫人だったカロリーネと共にヴァイマル(ドイツ)での定住生活を始めた時期にこの作品は完成されている(1849年)。二十歳前にこの協奏曲の主題は書き残されているので、それから度々の中斷を経てようやく20年越しで完成されたことになる。初演はそれから6年後にリスト自身のピアノとベルリオーズの指揮によって行われたものの、その後も改訂が施されていることから、この作品に対する執着と思い入れは余程強かったものと推察される。ショパンの2曲の協奏曲がすでに20歳までに初演されていたことを考えれば、同時代を生きた同タイプのアーティストでありながら、全く異なる内容の協奏曲を創造していたことは自明であり、そこにリストの独自性があったと言えるだろう。作品は次の4楽章から構成されており各楽章は切れ目なく演奏される。

**第1楽章:アレグロ・マエストーラ 変ホ長調 4分の4拍子**

自由なソナタ形式。インパクトのある主題は終楽章にも再登場する。煌びやかなピアノは冒頭から超絶的ピアニズムを惜しげもなく披露する。

**第2楽章:クアジ・アダージョ 口長調 8分の12拍子(4分の4拍子)**

ノクターン(夜想曲)風の緩徐楽章。

**第3楽章:アレグレット・ヴィヴァーチェ 変ホ長調 4分の3拍子**

スケルツォだが自由な構成で、トライアングルに重要な役割が与えられている。リスト派に批判的だった評論家から“トライアングル協奏曲”と揶揄されることでも知られる。

**第4楽章:アレグロ・マルツィアーレ・アニマート 変ホ長調 4分の4拍子**

第2楽章、第3楽章の動機が登場し、さらに第1楽章の主題が再現し壮麗なクライマックスが築かれていく。

樂器編成:独奏ピアノ、ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、ティンパニ、シンバル、トライアングル、弦楽5部。

### ◆ ベートーヴェン:交響曲第3番《英雄》 変ホ長調 op.55

この作品はフランス革命に登場した英雄ナポレオン(1769-1821)に触発されて1804年に完成された。当初手稿の表紙にはナポレオンに献呈するつもりで「ボナパルト」と書かれていたが、その手稿の写しをパリに送ろうとした直前にナポレオンの皇帝就任の報を聞き激怒して、その表紙を破り床に叩きつけフラン

スに送ることを取りやめたといわれている。2年後に出版されたときにはイタリア語で「シンフォニア・エロイカ」(英雄交響曲)と記載。これが今日まで続く同作品の通称となっている。作品内容としては後の“標題音樂”を先取りしたものではなく、第1番と第2番の交響曲のコンセプトを遵守しながらも、管弦楽の規模や

交響曲としての構想や内容を一挙に拡大増幅させた点で画期的である。所要時間も当時としては異例の50分の長時間に及び、また緩徐楽章に「葬送行進曲」、終楽章を変奏曲にするなど革新的な試みも認められる。いわば進取の気性に富んだ意欲的な内容といえ、ベートーヴェン自身も「第九」を書くまでは会心作という自負もあったようである。

この交響曲第3番《英雄》を巡っては、後期ドイツ・ロマン派のR.シュトラウス(1864-1949)に直截的な影響を与えたといえる。たとえば《英雄》と同年齢の時に書かれた壮大な交響詩《英雄の生涯》は、調性のみならず標題的意味内容も《英雄》を意識した上で“我田引水的”に書かれたものであるし、最晩年に書かれた《メタモルフォーゼン》では、《英雄》の第2楽章「葬送行進曲」の楽想を素材とし、戦争で失われた美への惜別と、リストが創案した斬新な変奏様式のオマージュとして描き出すことに成功している。またベートーヴェンが抱いていたであろう変ホ長調の調性感や調性イメージをさらに増幅したかのような《4つの最後の歌》の「夕映えの中で」では、人生の黄昏にあって過去へのノスタルジーと死への予感を壯麗な夕映えの情景の中で感動的に歌い上げる。自らの芸術人生の終焉に最もふさわしい音楽(調性)で締めくくっている点ではR.シュトラウスらしい完結の仕方は見事といふしかない。ベートーヴェンの《英雄》がもたらした波紋はR.シュトラウスのみならず、時を経た現代にまで広がり続けている。演奏を聴くたびに再認識させられる共感と感

動が何よりの証拠といえるのだから。

全体は次の4つの楽章から構成されている。

### 第1楽章：アレグロ・コン・ブリオ 変ホ長調 4分の3拍子

大規模なソナタ形式。展開部とコーダが通常よりも拡充されており、内容的にも例えば再現部直前に属和音上に主題が先行して現れるなど挑戦的な試みが後に論争を呼んだ。

### 第2楽章：「葬送行進曲」アダージョ・アッサイ ハ短調 4分の2拍子

ナポレオンとは無関係で、戦死した英國の将軍のために書いたという説がある。単体による楽曲演奏としても葬送の音樂によく使用される。

### 第3楽章：スケルツォ アレグロ・ヴィヴァーチェ 変ホ長調 4分の3拍子

トリオ付きの三部形式で、スケルツォ主題といい内容形式といい理想的なスケルツォ樂曲となっている。

### 第4楽章：フィナーレ アレグロ・モルト 変ホ長調 4分の2拍子

自由な変奏曲形式。ベートーヴェンのお気に入りだった自作のバレエ音樂《プロメテウスの創造物》の終曲の主題をテーマに用いている。交響曲の終楽章が変奏曲として有名なのはブラームスの第4番。両曲ともに“変奏曲の名手”としての力量が存分に発揮されているのは言うまでもない。

楽器編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン3、トランペット2、ティンパニ、弦樂5部。



PHOTO 1 2023年最初の公演は、東北の夢プロジェクトin 福島。初めての福島公演、中止を乗り越えようやく開催できました。ピアノとオーケストラの演奏、原町第一中学校吹奏楽部、郡山合唱塾の皆さんとの素敵な共演でした



PHOTO 3 2023年初めての東京定期演奏会は、次期首席指揮者カーチュン・ウォンと。「うた」と「構造」が両立する画期的なパルトーク(管弦樂のための協奏曲)。「深淵」と「狂乱」が紙一重の伊福部(シンフォニア・タブカラ)。濃厚なひと時をご堪能いただきました\*



PHOTO 5 1月28日 & 29日はカーチュン・ウォンと小菅優さんと一緒に、生誕150周年を迎えたラフマニノフ特集! ピアノ協奏曲第3番と交響曲第2番をお楽しみいただきました\*

\*印のアーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。  
<https://members.tvuch.com>



# 大人気シリーズコバケン・ワールド 指揮:小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者]



Vol.33

2023年 3/26(日) 14:00開演

サントリーホール

好評発売中

チエロ:堤 剛

グリンカ:歌劇《ルスランとリュドミラ》序曲

チャイコフスキ:ロココ風の主題による変奏曲

ムソルグスキー(ラヴェル編曲):組曲《展覧会の絵》



Vol.34

2023年 6/4(日) 14:00開演

1回券発売日:2023年3月7日(火)

サントリーホール

ピアノ:小山 実稚恵

チャイコフスキ:ピアノ協奏曲第1番 チャイコフスキ:交響曲第5番



©ND CHOW

Vol.35

2023年 9/24(日) 14:00開演

1回券発売日:2023年5月30日(火)

東京芸術劇場

ピアノ:仲道 郁代

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 ブラームス:交響曲第1番



©Tomoko Hidaki

Vol.36

2024年 3/17(日) 14:00開演

1回券発売日:2023年12月6日(水)

サントリーホール

フルート:真鍋 恵子 [日本フィル首席奏者]

ドビュッシー:小組曲 モーツアルト:フルート協奏曲第2番

ベルリオーズ:幻想交響曲



各回  
1回券料金

S ¥6,800 A ¥5,300 B ¥4,200 P ¥3,200 Ks(25歳以下) ¥1,500\* Gs(65歳以上) ¥4,500\*

## 【Vol.34~36】3回セット券

好評発売中

セット券 S ¥13,900 A ¥10,800 B ¥8,700 P ¥6,500 Gs(65歳以上) ¥9,800

※各回お席をご指定ください。※Ks席セット券は販売致しません。

※3回セット券、Ks席、Gs席は日本フィルでのみ販売です。

※障害者手帳をお持ちの方はKs席と同一料金です。セット券は販売致しません。

\*Ks席は25歳以下の方向が対象で、全ての席種から選べます。

\*Gs席は65歳以上の方向が対象で、S席以外から選べます。

主 催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

助 成 / 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 協 賛 / ローム株式会社

## 2023年 春季 芸劇シリーズ&名曲コンサート

好評発売中

東京芸術劇場

第245回 芸劇シリーズ

2023年 3月 18日(土) 16:00 開演

指揮:鈴木 織衛

共演:SUPER BRASS STARS(Tp エリック・ミヤシロ、Tb 中川 英二郎、Sax 本田 雅人)

トランペット:オッタビアーノ・クリストーフォリ[ソロ・トランペット]

ガーシュイン:キューバ序曲 グレインジャー編曲:アイルランド民謡《ロンドンデリーの歌》

ボロディン:歌劇《イーゴリ公》より「だつたん人の踊り」 チック・コリア(エリック・ミヤシロ編曲):Spain

和泉宏隆(エリック・ミヤシロ編曲):宝島 ホーギー・カーマイケル(中川幸太郎編曲):Stardust

エリック・ミヤシロ:Skydance 中川英二郎(中川幸太郎編曲):Into The Sky



©SY0587 trim ©RINZO-21

1回券料金 S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥5,000 C ¥4,000 Gs(65歳以上) ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥1,500

第246回 芸劇シリーズ

東京芸術劇場

2023年 4月 14日(金) 19:00 開演

指揮:横山 奏 ヴァイオリン:前橋 汀子

80分  
休憩なし

J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番より《シャコンヌ》

ヴィヴァルディ:四季より《春》

サン=サンス:序奏とロンド・カブリツィオーネ

メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲

サラサーテ:ツイゴイネルワイゼン



©平館 平 ©深山 紀信

1回券料金 S ¥5,000 A ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥1,500

第400回 名曲コンサート

サントリーホール

2023年 5月 21日(日) 14:00 開演

指揮:ピエタリ・インキネン[首席指揮者]

ソプラノ:森谷真理 色打子:池田香織 テノール:宮里直樹 バリトン:大西宇宙

合唱:東京音楽大学

【ベートーヴェン・ツィクルスVol.6】

シベリウス:交響詩《タピオラ》 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》



1回券料金 S ¥9,000 A ¥7,500 B ¥7,000 C ¥6,000 Gs(65歳以上) ¥6,000 Ys(25歳以下) ¥3,500

3月18日芸劇シリーズ&  
5月21日名曲コンサートのセット券あり

S席セット ¥13,000  
A席セット ¥10,000

3月16日までの  
販売

# あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、 あらゆる地域へ、世界へ

## オケのティキは、おもしろい～つがいのつどい～(2022年12月12日)

定期演奏会で上演する作品を、さまざまアプローチで紐解くワークショップ「オケのティキは、おもしろい」。作品の音楽的要素や時代背景などを分析し、作曲家がたどった創作プロセスを体験することで、参加者の感受性や想像力、コミュニケーション力を刺激します。

今回は1月の第747回東京定期演奏会のプログラム《バルトーク:管弦楽のための協奏曲》をテーマに西荻地域区民センターで開催し、幅広い世代の約30名が参加しました。



ワークショップのレポートは  
こちらから。▶

### マイケル・スペンサー[ファシリテーター] ——

3年ぶりの対面でのワークショップは非常に意味のあるものでした。ファシリテーターとして長年活動を共にしている楽員や参加者の皆さんとのコラボレーションは本当に楽しく、それぞれ年齢やスキルも違うのに、熱心に協力してくれたのも心強かったです。バルトークの「管弦楽のための協奏曲」は、東欧の伝統音楽の中で育った人でなければ再現することが難しい特別なエネルギーが込められていて、それを皆さんと共有することができました。これからも、このようなワークショップをたくさん企画していきたいと思っています。



マイケル・スペンサー[ファシリテーター]  
元ロンドン響ヴァイオリニスト、英国ロイヤルオペラハウス教育部長、2014年より日本フィルのコミュニケーション・ディレクター。

### 参加者の感想

- ◆ダンスや楽器の演奏が新鮮で楽しかったです。
- ◆オーケストラの曲を説明付きで聞いたのは初めてでした。ただ聞いただけではわからない曲の由来やどんな状況を表現しているかなど背景を考えながら聞くことができ、有意義な時間でした。
- ◆バルトークは難しいと思っていたけど、イメージが変わりました。
- ◆クラシックをこんなに細かく研究するのは初めてだったので、様々な視点から見ることができて楽しかったです。

>>> 次回の「オケのティキは、おもしろい」は秋頃に開催予定です。

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。

鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社  
**in 鹿島**



最高級のアコースティックを誇る

# 杉並公会堂

Suginami Koukaidou



日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、  
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。



日本フィル杉並公会堂  
シリーズ公演より



春休みオーケストラ探検より  
楽器体験



公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15  
Tel: 03-3220-0401  
<http://www.suginamikoukaidou.com/>  
※運営会社: (株)京王設備サービス



未来への想像は、紙で広がる。



## FSC®森林認証紙

森林管理に関するFSCの原則と規準では、「森林のもたらすサービスや価値の維持・向上」、「価値のある森林生態系を守ること」などが求められており、生物多様性の保全が図られています。



三菱製紙株式会社 <http://www.mpm.co.jp>

日本フィルを支えてくださる皆様に、  
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人との繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。

しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちはの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団  
理事長 平井 俊邦

#### ■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額 を  
メール [donation@japanphil.or.jp](mailto:donation@japanphil.or.jp) まで  
お知らせください。

#### 【お振込先口座】

三菱UFJ銀行 高円寺支店(支店コード:155)  
普通預金 0242402

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

#### ■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページから  
クレジットカードによりご寄付いただけます。  
右のQRコードから  
ご寄付のサイトを  
ご覧いただけます。

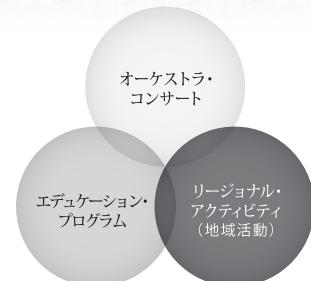


ご寄付をいただきました方には、  
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

## 感動の共有 日本フィルハーモニー交響楽団

### 文化の発信

日本フィルは、  
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》  
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》  
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる  
《リージョナル・アクティビティ》という  
三つの柱で活動を行い、  
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。(敬称略)

パトロネージュ 安西祐一郎 東京都

#### | 日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

#### | パトロネージュ[個人寄付会員]

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。  
年会費:3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

#### | 日本フィル・サポートーズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、  
主催公演チケット優先受付・優待(1割引)など様々な特典があります。  
年会費:1万円

#### | 特別会員[法人寄付]

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

#### | 遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ:日本フィル事務所 TEL03-5378-6311(10-18時、土日祝日休)

# 日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス  
代表取締役社長 舟越 真樹  
株式会社アイレ  
代表取締役社長 荒江 健  
アイング株式会社  
代表取締役会長 飯嶋 康夫  
赤坂維新號  
代表取締役社長 郑 東静  
あすか製薬株式会社  
代表取締役社長 山口 惣大  
株式会社アトックス  
代表取締役社長 矢口 敏和  
株式会社アドービジネスコンサルタント  
代表取締役社長 池田 昭司  
株式会社アール&キャリア  
代表取締役社長 飯嶋 一晃  
イーソリューションズ株式会社  
代表取締役社長 佐々木経世  
株式会社泉商会  
代表取締役社長 八方 淑夫  
株式会社泉放送制作  
代表取締役社長 日下部恵一  
磯野不動産株式会社  
代表取締役社長 磯野 計一  
稻畑産業株式会社  
相談役 稲畑 勝雄  
株式会社インフォマート  
代表取締役社長 中島 健  
株式会社内田洋行  
代表取締役社長 大久保 昇  
内野株式会社  
代表取締役社長 内野 信行  
宇部エクシモ株式会社  
代表取締役社長 古賀 源二  
株式会社AIT  
代表取締役社長 大熊 克美  
ABCシステム株式会社  
代表取締役社長 児玉 光宏  
株式会社エイブル&パートナーズ  
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂  
株式会社エヌエフホールディングス  
代表取締役会長 高橋 常夫  
NGB株式会社  
代表取締役社長 宮崎 潔  
エヌビース株式会社  
代表取締役会長 飯嶋 一晃  
株式会社エルイーテック  
代表取締役社長 坂田 洋一  
エレコム株式会社  
代表取締役会長 葉田 順治  
大隅ミート産業株式会社  
代表取締役社長 小森 浩一  
株式会社大場造園  
代表取締役社長 大場 二郎

株式会社岡三証券グループ  
取締役会長 加藤 哲夫  
小川香料株式会社  
代表取締役社長 小川 裕  
公益財團法人オーリックス宮内財團  
代表理事 宮内 義彦  
株式会社カカクコム  
代表取締役社長 畑 彰之介  
鹿島建設株式会社  
代表取締役会長 抑味 至一  
鹿島建物総合管理株式会社  
代表取締役社長 山本 和雄  
鹿島道路株式会社  
代表取締役社長 吉田 英信  
株式会社カナック企画  
代表取締役 金子高一郎  
株式会社ガモウ  
代表取締役 蒲生 茂  
社会医療法人河北医療財團  
理事長 河北 博文  
川北電気工業株式会社  
取締役社長 大津 正己  
北野建設株式会社  
代表取締役会長兼社長 北野 貴裕  
キッコーマン株式会社  
取締役名誉会長取締役会議長 茂木友三郎  
キヤノン株式会社  
代表取締役会長 兼社長 CEO 御手洗富士夫  
キューピー株式会社  
代表取締役 社長執行役員 高宮 満  
株式会社協和日成  
代表取締役社長 川野 茂  
キリンホールディングス株式会社  
代表取締役社長 磯崎 功典  
株式会社きんでん  
取締役社長 上坂 隆勇  
株式会社九曜社  
代表取締役社長 望月 耕次  
グリーン・サポート・システムズ株式会社  
代表取締役 笹木 彰  
グローブシップ株式会社  
代表取締役社長 矢口 敏和  
京王重機整備株式会社  
代表取締役社長 寺田雄一郎  
株式会社京王設備サービス  
取締役社長 浅野 義行  
京王電鉄株式会社  
代表取締役社長執行役員 都村 智史  
京浜急行電鉄株式会社  
取締役社長 川俣 幸宏

株式会社小泉  
代表取締役社長 長坂 剛  
株式会社興建社  
代表取締役 水島 隆明  
コーヴィ株式会社  
代表取締役 貝沼 信和  
株式会社講談社  
代表取締役社長 野間 省伸  
株式会社コバヤシ  
代表取締役 小林 達夫  
コンパッソ税理士法人  
代表社員 内川 清雄  
株式会社コトブキ  
代表取締役社長 深澤 幸郎  
株式会社コンサートサービス  
代表取締役 佐藤 修悦  
佐藤製薬株式会社  
代表取締役社長 佐藤 誠一  
三機工業株式会社  
特別顧問 梶浦 卓一  
山九株式会社  
代表取締役社長 中村 公大  
サントリーホールディングス株式会社  
代表取締役社長 新浪 剛史  
三洋貿易株式会社  
代表取締役社長 新谷 正伸  
ジーエルサイエンス株式会社  
取締役社長 長見 善博  
ジェネロ株式会社  
代表取締役 竹内 大志  
株式会社慈恵実業  
代表取締役社長 石塚 雄三  
瀧谷工業株式会社  
取締役社長 瀧谷 英利  
株式会社じほう  
代表取締役会長 武田正一郎  
清水建設株式会社  
代表取締役社長 井上 和幸  
株式会社集英社  
代表取締役社長 廣野 真一  
ショーボンドホールディングス株式会社  
代表取締役社長 岸本 達也  
新菱冷熱工業株式会社  
代表取締役社長 加賀美 猛  
株式会社ジャックス  
代表取締役社長 村上 亮  
株式会社ジンテック  
代表取締役 柳 秀樹  
株式会社杉江商店  
代表取締役 杉江 寛  
杉山商事株式会社  
取締役社長 杉山 健  
住友ベークライト株式会社  
代表取締役社長 藤原 一彦  
株式会社スプリックス  
代表取締役社長 常石 博之  
全国保証株式会社  
代表取締役社長 石川 英治

第一倉庫株式会社  
会長 小泉 駿一  
株式会社泰秀  
代表取締役社長 野口 通子  
大正製薬株式会社  
取締役会長 上原 明  
大同生命保険株式会社  
代表取締役社長 北原 瞳朗  
大日本除虫菊株式会社  
代表取締役社長 上山 直英  
大和製罐株式会社  
代表取締役社長 山口 裕久  
高砂熱学工業株式会社  
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人  
千歳コーポレーション株式会社  
取締役社長 森岡 寛司  
千代田化工建設株式会社  
代表取締役会長兼社長 柿田 雅和  
株式会社千代田テクノル  
代表取締役会長 細田 敏和  
塙本總業株式会社  
代表取締役社長 塙本 素清  
ディアンドデパートメント株式会社  
代表 ナガオカケンメイ  
DM三井製糖株式会社  
株式会社ティーガイア  
代表取締役社長 石田 將人  
学校法人帝京大学  
理事長 冲永 佳史  
THK株式会社  
代表取締役社長 寺町 彰博  
T I S株式会社  
代表取締役社長 岡本 安史  
株式会社電通  
代表取締役 社長執行役員 横谷 典洋  
東亜建設工業株式会社  
代表取締役社長 早川 肇  
株式会社東急コミュニケーションズ  
代表取締役社長 木村 昌平  
東京海上日動火災保険株式会社  
取締役社長 広瀬 伸一  
株式会社東京交通会館  
代表取締役社長 興野 敦郎  
東京都杉並区  
区長 岸本 聰子  
東京美装興業株式会社  
代表取締役社長 八木 秀記  
東洋熱工業株式会社  
代表取締役社長 谷口 昌伸  
戸田建設株式会社  
代表取締役会長 今井 雅則  
トヨタ自動車株式会社  
代表取締役社長 豊田 章男  
株式会社永田音響設計  
代表取締役社長 小口 恵司

株式会社永谷園ホールディングス  
代表取締役会長 永谷栄一郎

株式会社ナミキ 代表取締役会長兼社長 並木 洋一

日総工産株式会社  
代表取締役社長執行役員 兼 CEO 清水 竜一

日鉄興和不動産株式会社 代表取締役社長 今泉 泰彦

株式会社ニフコ 代表取締役会長 山本 利行

日本精工株式会社 取締役会長 内山 俊弘

日本製鉄株式会社 代表取締役社長 橋本 英二

日本電子株式会社  
代表取締役会長 兼取締役会議長 栗原権右衛門

日本パーカライジング株式会社

株式会社日本マイクロニクス  
代表取締役社長 長谷川正義

株式会社ネイチャーズウェイ  
代表取締役社長 萩原 吉晃

根本特殊化学株式会社 代表取締役社長 根本美恵子

野村ホールディングス株式会社  
代表執行役社長 グループCEO 奥田健太郎

バイオニア株式会社  
代表取締役兼社長執行役員 矢原 史朗

ハウス食品グループ本社株式会社  
代表取締役社長 浦上 博史

株式会社博報堂 代表取締役社長 水島 正幸

ハナマルキ株式会社 代表取締役社長 花岡周一郎

パンパシフィック・カッパー株式会社  
代表取締役社長 堀 一浩

阪和興業株式会社 代表取締役社長 中川 洋一

東日本住宅株式会社 代表取締役 桃野 直樹

非破壊検査株式会社 代表取締役社長 山口多賀幸

ひびき・パース・アドバイザーズ  
代表取締役社長 清水 雄也

富国生命保険相互会社 代表取締役社長 米山 好映

富士急行株式会社 代表取締役社長 堀内光一郎

富士テレコム株式会社 代表取締役社長 西田 孝一

一般財団法人 藤本育英財団

古河産業株式会社 代表取締役社長 横田 敦彦

合同会社ベルファーマシー 代表社員 前島 景子

株式会社ボーラ・オルビスホールディングス

ホッカントホールディングス株式会社  
代表取締役社長 池田 孝資

株式会社ボニーキャニオン  
代表取締役社長 吉村 隆

本田技研工業株式会社  
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏

株式会社牧野フライス製作所  
取締役社長 宮崎正太郎

マネックスグループ株式会社  
代表執行役 松本 大

株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井 浩

株式会社丸の内よろず 取締役社長 中村 正博

丸美屋食品工業株式会社 代表取締役社長 阿部豊太郎

三井情報株式会社 代表取締役社長執行役員 浅野 謙吾

株式会社三井住友銀行 領取CEO 高島 誠

三井倉庫ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 古賀 博文

三井物産株式会社 代表取締役社長 堀 健一

三井不動産株式会社 代表取締役社長 菊田 正信

株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ  
代表取締役会長 飯嶋 康夫

株式会社三越伊勢丹ホールディングス  
特別顧問 石塚 邦雄

三菱HCキャピタル株式会社  
代表取締役 社長執行役員 柳井 隆博

三菱オートリース株式会社  
代表取締役社長 中野 智

三菱ガス化学株式会社 代表取締役社長 藤井 政志

三菱地所株式会社 執行役社長 吉田 淳一

三菱自動車工業株式会社  
取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者 加藤 隆雄

三菱重工業株式会社 取締役社長 泉澤 清次

三菱倉庫株式会社 相談役 宮崎 豪

株式会社三菱UFJ銀行 領取 半沢 淳一

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社  
取締役社長 兼 グローバルCEO 小林 真

武藏商事株式会社 代表取締役 宇田川紀通

明治安田生命保険相互会社  
取締役代表執行役社長 永島 英器

株式会社明和住販流通センター  
代表取締役 塩見 紀昭

メッドサポートシステムズ株式会社  
代表取締役 谷川ひとみ

株式会社メディアグラフィックス  
代表取締役社長 我妻まどか

株式会社メルコホールディングス  
代表取締役社長 牧 寛之

森社会保険労務士事務所 所長 森 康之

株式会社ヤクルト本社 相談役名誉会長 堀 澄也

山崎製パン株式会社

ヤマトホールディングス株式会社  
特別顧問 神田 晴夫

UBE株式会社 取締役会長 山本 謙

ユウキフーヴシステム株式会社  
代表取締役 田中 秀和

横河電機株式会社

米持建設株式会社 代表取締役 米持 大介

リガク・ホールディングス株式会社  
取締役会長 志村 晶

株式会社リヨーサン  
代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦

株式会社Rings 代表取締役 矢部 和広

株式会社リンレイ 代表取締役社長 鈴木 信也

株式会社LEOC 代表取締役会長兼社長 小野寺裕司

株式会社レゾナック・ガスプロダクト  
代表取締役社長 平倉 一夫

株式会社レゾナック・ホールディングス  
代表取締役会長 森川 宏平

ローム株式会社  
代表取締役社長 社長執行役員 松本 功

匿名5名

(2023年3月1日現在・50音順・敬称略)

## パトロネージュご芳名

( 2023年2月1日現在 )  
50音順・敬称略

# Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

<https://members.tvuch.com>



Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。

日本フィルの配信は1,000円で3ヵ月間何度でもご視聴いただけます(販売期間は6ヶ月です)。

**まずはID登録! メールアドレスとパスワードのみで簡単!**

9月16日 さいたま定期演奏会 指揮:小林 研一郎 ピアノ:河村 尚子

ブラームス:ピアノ協奏曲第1番 チャイコフスキイ:交響曲第4番

10月22日 東京定期演奏会 指揮:ピエタリ・インキンネン

ベートーヴェン:交響曲第8番、第7番

11月5日 芸劇シリーズ 指揮:小林 研一郎

ドヴォルジャーク:交響曲第8番、第9番《新世界より》

11月12日 さいたま定期 指揮:沼尻 龍典 ヴァイオリン:服部 百音

メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ブラームス:交響曲第4番

11月18日 東京定期演奏会 指揮:オーボエ:フランソワ・ルレー

ドヴォルジャーク:管楽セレナーデ\* ドヴォルジャーク:《伝説》より第1曲、第8曲、第3曲

モーツアルト:オーボエ協奏曲\* ビゼー:交響曲第1番

\*吹き振り

12月22日 第九特別演奏会2022

指揮:小林 研一郎 ソプラノ:小川 葉奈 アルト:山下 牧子 テノール:錦織 健 バリトン:大沼 徹  
合唱:東京音楽大学 オルガン:石丸 由佳

ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》他

12月27日 第九特別演奏会2022

指揮:小林 研一郎 ソoprano:市原 愛 アルト:山下 牧子 テノール:笛田 博昭 バリトン:青山 貴  
合唱:日本フィルハーモニー協会合唱団 オルガン:石丸 由佳

ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》他

1月20日 東京定期演奏会 指揮:カーチュン・ウォン

伊福部昭:シンフォニア・タプカラーラ バルトーク:管弦楽のための協奏曲

1月29日 芸劇シリーズ 指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:小菅 優

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番、交響曲第2番

3月3日 東京定期演奏会 指揮:小林 研一郎 ピアノ:金子 三勇士

リスト:ピアノ協奏曲第1番 ベートーヴェン:交響曲第3番《英雄》

## ◆ 新入団員紹介 ◆

新入団員に11の質問!

ヴァイオリン

**伊藤 太郎** ITO Taro

ヴァイオリン・セクションに新たに入団いたしました伊藤太郎をご紹介いたします。



① 誕生日 11月5日

② 私はこんな人 面倒くさがり

③ 楽器を始めたきっかけ 幼稚園がヴァイオリンかピアノを選んでレッスンを受けるところだったので

④ 音楽家になっていなかつたら? 教習所の指導員

⑤ 時間があつたら何をしたい? 家で溜まっているゲームを端からクリアしていきたい

⑥ リラックス方法は? サウナ行ったりゲームしたり

⑦ 好きな映画を教えてください ロード・ワン／スター・ウォーズ・ストーリー

⑧ 座右の銘があれば 今日だけがんばる

⑨ 日本フィルに入団が決まった瞬間の気持ちを一言で やつたああああ

⑩ ずばり、今のところ日本フィルはこんなオケだと思う アツい!

⑪ 最後にお客様へのメッセージをお願いいたします

いつも日本フィルを応援してくださりありがとうございます。

クラシック音楽の素晴らしい世界をコンサートホールで皆様と共有できることはこの上ない喜びです。ぜひ沢山のコンサートに足をお運びいただき、色々な感動を発見していただければ嬉しいです。

サントリーホール

2023年4月28日(金)19:00開演

29日(土)14:00開演 「本日の聴きどころ(プレトーク)」13:20~

インキネン、首席指揮者として最後の東京定期。  
集大成の《クレルヴォ交響曲》



©Kaupo Kikkas

指揮:ピエタリ・インキネン  
[首席指揮者]

ソプラノ:ヨハンナ・ルサネン  
バリトン:ヴィッレ・ルサネン

男声合唱:ヘルシンキ大学男声合唱団  
東京音楽大学

シベリウス:《クレルヴォ交響曲》op.7

※休憩はございません



1回券料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売 P 合唱団席 Ys (25歳以下) ¥1,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引きがございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

聞き手 池田 卓夫(音楽ジャーナリスト@いけたく本舗)  
<https://www.iketakuhonpo.com/>

ピエタリ・インキネンは「クレルヴォ交響曲」を語り出すと止まらない!

2023年4月28&29日の第749回はピエタリ・インキネンにとって日本フィル首席指揮者最後の東京定期演奏会に当たり、シベリウス初期の大作《クレルヴォ交響曲》を披露する。日本フィルのプログラムに上るのは創立指揮者の渡邊曉雄が1986年に演奏して以来、37年ぶり。ここ数年のインキネンは1974年の日本初演(オーケストラは東京都交響楽団)を担った渡邊に負けず劣らず、「《クレルヴォ》の伝道師」を自認し、世界各地のオーケストラと演奏してきたので、語りだすと止まらない。

「プラハ交響楽団とはチェコ初演を実現、ソウルのKBS交響楽団との韓国初演したばかりです。さらにミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ピツツバーグ交響楽団、ドイツのルートヴィヒスブルク音楽祭管弦楽団とも、《クレルヴォ》を演奏しました」

インキネンはなぜ、シベリウスの中でもメジャーとは言い難い初期(作品7)の《クレルヴォ》にこだわるのだろう? 5月の日本では演奏頻度に天地ほど差があるベートーヴェンの「交響曲第9番《合唱》」も指揮する。

「もちろん『ダイク』は傑作中の傑作、お客様の好みが集中するのも理解できます。《クレルヴォ》には格別の色彩感があり、フィンランドの指揮者として『外交努力』を重ね、より多くの皆様の耳にお届けしたいと強く思うのです。作品に問題点があるとすれば、血生臭く過酷なストーリー、主人公クレルヴォの強烈なキャラクターでしょうか。それでも運命に翻弄される兄と妹の姿に、誰もが胸を打たれます。ワーグナーに通じる例外的なパワーを備え、人間の本質に迫る意味深長な交響曲です。ベルリンの聴衆は、明らかにショックを受けていました」

日本フィルの定期ではソプラノをヨハンナ・ルサネン、バリトンをヴィッレ・ルサネンと実際の姉弟が担い、ヘルシンキ大学と東京音楽大学の男声合唱団が共演する。オペラ指揮者でもあるインキネンは、声楽パートにも強いこだわりを持つ。

「合唱にヘルシンキ大学男声合唱団が加わるのは心強いです。これまで、ソプラノには日本フィルでもおなじみのリリ・パーシキヴィをはじめ、モニカ・クロープらも起用、バリトンではヨルマ・ヒュニネン、ユッカ・ラシライネンらワーグナー歌手とも頻繁に演奏してきました。今回は(作品では兄妹ですが)本物の姉弟というのも一つの売り物です」

かつて日本フィルにも客演、《クレルヴォ》初の全曲録音を実現したフィンランドの先輩指揮者、パーヴォ・ペルグレンは管楽器を補強するなど、スコアに手を入れていた。インキネンが「私はオリジナルのまま、演奏します」と語る背景には、日本フィルの演奏能力も大きくかかわっている。

「2008年4月に最初に共演したとき、シベリウスの『交響詩《伝説(エン・サガ)》』独特的の感触を日本フィルの皆さんが本当に楽しみながら弾いているのに、驚きました。フィンランド以外の場所でシベリウスを指揮して『アット・ホーム』だと感じたのは、初めての体験です。渡邊先生やペルグレンさんの時代はシベリウスの普及も念頭に置いてスコアに手を入れ、かなりダイナミックに演奏されていたと思います。私が2013年に日本フィルとシベリウス・ツイクリスを行った際は繊細な色彩感を際立たせ、力を取り除きながらオリジナル回帰に努めました」「現在の日本フィルはよりソフトに演奏することができますし、サントリーホールの音響も抜群です。今回の方針は『more color and less power(さらなる色彩感を一層の脱力で)』であり、さらに繊細な音楽をつくりたいと思います」

コロナとの共生?が進み「お客様のいらっしゃる前で演奏できる『健康』のリアリティを実感しています」と語るインキネンが日本フィルと声楽チーム、客席と一緒に繰り広げる《クレルヴォ》の祭典に期待しよう。

**■ 定年のお知らせ**

トランペッタの中里州宏が2023年2月11日に、第1ヴァイオリンの本田純一が2023年2月24日に定年を迎えました。中里及び本田は1982年9月に入団し、それぞれのセクションで活躍してまいりました。定年後も引き続き嘱託の奏者として演奏いたします。今後もご期待ください。

**■ 新入団員のお知らせ**

2023年2月8日付でコントラバス・セクションに森田麻友美が入団いたしました。今後の活躍にご期待ください。

**■ 退団のお知らせ**

チェロの横山桂は2023年2月6日付で退団いたしました。2013年11月に入団しチェロ・セクションの要として活躍してまいりました。今後の活躍をお祈り申し上げます。

**■ テレビ番組レギュラー出演のお知らせ**

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcomeクラシック』BS朝日 毎週水曜日22:54~23:00(第3週、第4週は再放送)。登場するのはピエタリ・インキネン&山田和樹。ぜひご覧ください!

**■ 本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です。**

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のままで撮影をお願いいたします。

フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

**❖ プレトーク「本日の聴きどころ」**

東京定期演奏会の土曜日は、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今回は齋藤弘美氏の登場です。土曜日13:20~

**定期会員券ご寄附のお願い**

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなつた時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

1月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。  
(50音順・敬称略)匿名11名

**ご寄付の方法**

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにてお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

\*公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。\*会員券のご郵送はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。\*ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにてご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・  
サービスセンター

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911(平日11時~17時)

FAX: 03-5378-6161(24時間) E-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

**■ 好評発売中**

- ・2022/2023 春季東京定期演奏会 1回券
- ・2022/2023 春季横浜定期演奏会 1回券

**第245回芸劇シリーズ**

2023年3月18日(土) 16:00開演

東京芸術劇場

『題名のない音楽会』でもおなじみのエリック・ミヤシロ・中川英二郎・本田雅人が結成したSUPER BRASS STARS &日本フィルが誇るトランペッター、オッタビアーノ・クリストーフオリによる魅惑のステージ

**コバケン・ワールドVol.33**

2023年3月26日(日) 14:00開演

サントリーホール

指揮: 小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者] チェロ: 堤剛

チャイコフスキイ: 口ココ風の主題による変奏曲  
ムソルグスキー(ラヴェル編曲): 組曲《展覧会の絵》他

**第400回名曲コンサート**

2023年5月21日(日) 14:00開演

サントリーホール

指揮: ピエタリ・インキネン [首席指揮者]  
ソプラノ: 森谷 真理 アルト: 池田 香織  
テノール: 宮里 直樹 バリトン: 大西 宇宙  
合唱: 東京音楽大学

**【ベートーヴェン・ツイクリスVol.6】**

シベリウス: 交響詩《タピオラ》

ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》

**2023年春季セット券**

①第245回芸劇シリーズ

2023年3月18日(土) 14:00 東京芸術劇場

②第400回名曲コンサート

2023年5月21日(日) 14:00 サントリーホール

S席セット¥13,000/A席セット¥10,000

**コバケン・ワールドVol.34~36 3公演セット券**

詳細は挟み込みのチラシをご覧ください

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



JAPAN  
PHILHARMONIC  
ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

楽団創立 1956年6月

創立指揮者 渡邊 曜雄  
桂冠名誉指揮者 小林 研一郎  
名誉指揮者 ルカーチ・エルヴィン  
名誉指揮者 ジェームズ・ロッホラン  
客員首席指揮者 ネーメ・ヤルヴィ

首席指揮者  
桂冠指揮者 兼芸術顧問  
フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)  
首席客演指揮者

ピエタリ・インキネン  
アレクサンドル・ラザレフ  
広上 淳一  
カーチュン・ウォン

ソロ・コンサートマスター	扇谷 泰朋	太田 麻衣	九鬼 明子	理 事 長(代表理事)	平井 俊邦
ソロ・コンサートマスター	木野 雅之	榎 楓	竹歳 夏鈴	副理事長(代表理事)	五味 康昌
ソロ・コンサートマスター	田野倉雅秋	谷崎 大起	中谷 郁子	常務理事(代表理事)	後藤 朋俊
アシスタント・コンサートマスター	千葉 清加	西村 優子	平井 幸子	常務理事(代表理事)	中根 幹太
第1ヴァイオリン	伊藤 太郎	佐藤 駿一郎	大貫 聖子	常務理事(代表理事)	福井 英次
	齋藤 政和	佐藤駿一郎	岡田 紗弓	理 事	石井啓一郎 / 遠藤 滋
	谷崎 大起	末廣 紗弓	豊田 早織	佐々木経世 / 田村 浩章	
	西村 優子	神尾あづさ	川口 貴	戸所 邦弘 / 福本ともみ	
第2ヴァイオリン	遠藤 直子	佐藤駿一郎	豊田 早織	監 事	上條 貞夫 / 福澤 宏哉
	加藤 裕一	末廣 紗弓	小中澤基道	評議員会会長	加藤 丈夫
	佐藤駿一郎	高橋 智史	中川裕美子	評議員	青井 浩 / 安孫子 正
ヴィオラ	安達 真理	児仁井かおり	松澤 雅奈	名 誉 顧 問	荒蒔康一郎 / 石塚 邦雄
	山田 匠	中溝とも子	ソロ・チェロ	名 誉 顧 問	石村 等 / 稲垣 尚
	安達 真理	菊地 知也	大庭 勉	名 誉 顧 問	内川 清雄 / 大塚 宣夫
	山田 千秋	大澤 美雨	伊堂 寧	アドバイザー・ボード	河北 博文 / 喜多 崇介
	高橋 智史	久保 公人	高山 智樹	大島 刚 / 小野 敏夫	
	中溝とも子	大庭 勉	成澤 美紀	小網 忠明 / 後藤 茂	
	松澤 雅奈	伊藤 寛隆	山口 雅之	武田 隆男 / 田邊 稔	
		佐竹 真登	難波 薫	溝口 文雄	
		伊藤 寛隆	杉原由希子	コミュニケーションディレクター	マイケル・スペンサー
		楠木 慶	松岡 裕雅	マネジメント・スタッフ	浅見 浩司 / 磯部 一史
		堂面 宏起	照沼 夢輝		江原 陽子 / 及川ひろか
		大内 秀介	鈴木 一志		小川紗智子 / 萩島 里帆
		中川日出鷹	田吉佑久子		賀澤 美和 / 柏熊由紀子
		伊藤 舜	宇田 紀夫		小須田 萌 / 佐々木文雄
		原川翔太郎	信末 碩才		澤田 智夫 / 篠崎めぐみ
		丸山 勉	村中 美菜		清水佑香子 / 杉山 繼子
					杉山まだか / 高橋 勇人
					田中 正彦 / 梶谷 裕子
					中村沙緒里 / 西田 大輔
					長谷川珠子 / 藤田 千明
					別府 一樹 / 益満 行裕
					宗澤 晶子 / 山岸 淳子
					吉岡 浩子 / 新井 康允 / 伊波 瞳
					永島 義郎 / 南部 洋一

楽団長 中根 幹太  
チーフステージマネージャー 阿部 紅子  
ステージスタッフ 長橋 健太  
チーフインスペクター 佐藤駿一郎  
インスペクター 宇田 紀夫  
ライブラリアン 鬼頭さやか

森田 大翔  
鈴村 優介  
杉本 哲也

◎首席奏者 ○副首席奏者 ☆客演首席奏者 □試用期間

団友:

青柳 哲夫	青山 均	赤堀 恒史	泰江
新井 豊治	石井啓一郎	伊藤 遼藤	利
伊波 瞳	遠藤 功	大味 隆行	清子
大石 修	大川内 弘	蒲谷 隆	司
笠 美知子	金本 順子	吉川 利	烈
川口 和宏	菊田 秋一	佐藤 俊夫	一
木村 正伸	小林 俊夫	佐々木 裕司	洋
斎藤 千種	佐藤 雄	高木 理美	喜
菅原 光	高木 洋	田沢 尚代	裕
高木 和男	高倉 俊子	富樫 健一	泰
立川 尚尚	坂阪 二朗	橋本 健	洋
豊田 幸彦	中川 奈切	中野 敏郎	島
中務 幸代	喜平 敏郎	吉田 寛一	克郎
畠井紀代子	松本 伸三	福島 三本	茂
松本 良平	山科 明子	森 淳子	辰夫
宮武 進三	渡辺 哲雄	山本	

(2023年3月1日現在)

チケットお申込・お問い合わせ

【日本フィル・サービスセンター】

TEL.03-5378-5911(通常:平日10時~17時／現在:平日11時~17時) ※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。  
FAX.03-5378-6161(24時間)  
E-MAIL : [order-ticket@japanphil.or.jp](mailto:order-ticket@japanphil.or.jp)

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311  
[japanphil.or.jp](http://japanphil.or.jp)



公式Twitter  
@Japanphil



公式アカウント



「Welcome クラシック」インキネン & ヤマカズが語るミニ番組  
毎週水曜日 22:54~23:00 放送中!!